

予告

広厳寺仏教講演会

期日 平成二十八年
四月二十四日(日)

時間 午後一時半～三時

場所 広厳寺本堂

参加費 五百円

講師 松山大耕師



○1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院農学生命科学研究科修了。07年臨濟宗妙心寺退蔵院副住職。外国人への禅指導は自ら英語で行う。外国人記者クラブや各国大使館で多数講演し、日本文化の発信交流に尽力。政府観光庁「Visit Japan 大使」、京都市「京都観光おもてなし大使」に任命される。将来を嘱望される日本仏教界のひとり。

副住職だより (長男孝純)

梅花流三級師範として活躍中。

千眼寺だより (二男秀孝)

村上市平林・千眼寺では八月二十日解制法要を行った。これで晋山結制の行事が全て終了。

永平寺だより (三男恭真)

平成二十六年二月二十八日上山、平成二十七年五月一日に送行しました。一年二ヶ月の永平寺修行でした。四国の瑞應寺専門僧堂と合わせると約四年八ヶ月間の安居でした。現在師寮寺補佐。

安澤浩祥老師御遷化

胎内市黒川 長谷寺住職。平成二十七年七月二十五日午前十時四十八分、世寿五十九歳にて死去。本葬は八月二十二日、本寺増慶院・深井和雄老師を乗炬師に拝請して営まれた。浩祥師は胎内市弥彦岡の農家出身(旧姓・伊藤造)、ご縁があつて長谷寺の先代・安澤泰全老師の後を継ぎ、二十世住職となる。宗門では宗務所布教師、北信越管区布教師を歴任、社会に於いては民生児童委員として長く活躍された。

予告

広厳寺研修旅行

横浜鶴見・大本山總持寺参拝と
房総半島の旅

平成二十八年
五月十日～十一日

*詳細は次号にて

梅花だより

梅花流検定会

七月二十四日新発田市金蘭荘にて開催され、当寺より四名が受検合格しました。

梅花(御詠歌)練習会日程表

九月 十日(木) 午後一時

九月 二十五日(金) 午後一時

十月 八日(木) 午後一時

*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏・諸菩薩さまを讀え、ご先祖さまを敬うところを学ぶことができます。

写経会だより (午後一時～四時)

九月は都合により休会、十月十一日(日)、十一月八日(日)、十二月十三日(日)

*ご自分の都合のつく時間から始められます。

仏事の知識

僧侶の身に付ける衣の色

曹洞宗宗制には服制規定があり、これによって僧侶の衣(直裰)の色が決められている。普段、着する色衣は2等教師以上の住職、前住職及び副住職の者が申請によって被着できる。緋衣は初会結制(住職となる儀式)において、申請により被着できる。緋恩衣は、大和尚(結制修行した者)の法階を有する正教師の者で、年齢45歳以上の緋衣被着の許可を得た者のうちから、黄恩衣は、権大教師(年齢55歳以上)の者、赤紫恩衣は、大教師(年齢60歳以上、定員180人)の者で、紫紺恩衣は、権大教正(定員30人)の者のうちから、それぞれ、宗務、布教、教育、社会事業等に功労があると認める経歴審査会において審査選考して被着できる。特衣は、貫首及び前貫首が被着するし、副貫首もそれに準ずる。なお、宗派によって違いがある。